

けんこう通信

Photo Smile



保健情報を毎月お届け 問いきいき健康課 ☎30-0119

■保健事業カレンダー

※(花)(八)(尾)(十)(大)は、花輪・八幡平・尾去沢・十和田・大湯を指します。

とき	内容	対象	受付時間	ところ
14日(金)	3歳児健診	平成25年12月生(全地区)、平成26年1月生(十・大)	13時～13時15分	福祉保健センター
19日(金)	乳児健診(3～4か月児)	平成28年12月生(全地区)	13時～13時15分	
20日(金)	1歳6か月児健診	平成27年8月生(全地区)、平成27年9月生(十・大)	13時～13時15分	
25日(金)	乳児相談(4～5か月児)	平成28年11月生(全地区)	9時45分～10時	

■在宅当番医(あんしん医療連携事業)

とき	病院名	とき	病院名
1日(土)	鹿角中央病院 ☎23-4131	16日(日)	本田医院 ☎35-3002
2日(日)	大里医院 ☎22-1251	17日(月)	福永医院 ☎35-3117
3日(月)	福永医院 ☎35-3117	18日(火)	長橋医院 ☎23-7612
4日(火)	長橋医院 ☎23-7612	19日(水)	村木医院 ☎22-2055
5日(水)	本田医院 ☎35-3002	20日(木)	三ヶ田医院 ☎31-1231
6日(木)	小坂町診療所 ☎29-5500	21日(金)	大湯リハビリ病院 ☎37-3511
7日(金)	大湯リハビリ病院 ☎37-3511	22日(土)	本田医院 ☎35-3002
8日(土)	笹村整形外科 ☎30-0035	23日(日)	かつの厚生病院 ☎23-2111
9日(日)	かつの厚生病院 ☎23-2111	24日(月)	小坂町診療所 ☎29-5500
10日(月)	なかのクリニック ☎22-7335	25日(火)	笹村整形外科 ☎30-0035
11日(火)	福永医院 ☎35-3117	26日(水)	なかのクリニック ☎22-7335
12日(水)	大里医院 ☎22-1251	27日(木)	大里医院 ☎22-1251
13日(木)	村木医院 ☎22-2055	28日(金)	鹿角中央病院 ☎23-4131
14日(金)	小坂町診療所 ☎29-5500	29日(土)	村木医院 ☎22-2055
15日(土)	いけがみクリニック ☎30-0111	30日(日)	大湯リハビリ病院 ☎37-3511

※かつの厚生病院の入口は、「救急入口」となります。

月曜から土曜は17時～20時、日曜祝日は9時～20時

各種検診が始まります

4月中旬に、各自治会の保健協力員を通じて「検診の案内パンフレット」と「検診申込書(受診状況調査書)」を配布します。

市役所や各支所にも備え付けますので、案内パンフレットをご確認の上、お申し込みください。

1年に1回検診を受けましょう!

◆申込締切 4月24日(日)

問いきいき健康課 ☎30-0119

■献血車訪問

とき	受付時間	ところ
	9時～10時15分	有限会社プレ・テック
21日(金)	12時5分～13時	株式会社柳澤鉄工所
	13時50分～15時30分	鹿角中央病院

*400ミリリットル献血にご協力をお願いします。輸血患者の副作用軽減につながります。

春の狂犬病予防注射

生後3カ月以上の犬を飼う場合、犬の登録と年1回の狂犬病予防注射が法律により義務づけられています。広報4月号と一緒に配布している「平成29年度狂犬病予防注射」で巡回日程を確認し、予防注射を受けましょう。

なお、死亡や飼い主・所在地の変更も届け出が必要です。変更等がある場合はいきいき健康課までご連絡ください。

問いきいき健康課 ☎30-0119

「ふれあいサロン」の会場が変わります

お茶を飲みながらじっくり話を聞いてもらえる場所が「ふれあいサロン」です。ボランティアのふれあいパートナーがあたたかくお出迎えします。無料ですので、お気軽にお立ち寄りください。

ふれあいサロンは、3カ所で開催中です。4月から会場が変わる地区があるのでご注意ください。

地区	4月からの会場	日時
花輪	関善	毎月8・18・28日 9時30分～11時30分
毛馬内	多世代交流スペースどまっこ(月山神社向かい)	毎月2・12・22日 9時30分～11時30分
大湯	中田地区集会所(大湯字中田8-4)	毎月4・14・24日(日・祝日休み) 9時～11時

問いきいき健康課 ☎30-0119

Life In Sopron

— ショプロンでの生活 —

日本語語学指導員現地レポート VOL.2

第9代日本語語学指導員 栗原 拓実さん

花輪出身。市の外国人向け日本語教室での講師経験を生かして渡航。

ブログ公開中 <http://ta93sopron.blogspot.jp/>

詳しい様子はこちらで紹介しています。ぜひご覧ください。



セーチェニー・イシュトバン・ギムナジウム (栗原さんが教える日本語教室がある学校)



日本語教室の生徒たち

鹿角市の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日本では4月から新年度を迎え、新たな環境での生活が始まった方々も多くいらっしゃると思います。ハングリーでは9月から新年度を迎えますので、いつもと変わらぬ日々が続いています。そんな中いつも感じている点、それはドライバーはいつも歩行者を優先してくれる、ということ。信号機のない横断歩道を渡る時、必ず自動車の方が止まってくれます。日本だとあまりそうはいかないですね。さて、1月中旬に始まった日本語教室。場所は、これまでと同様、ショプロン市中心部にあり、セーチェニー・イシュトバン・ギムナジウム(高校)の教室の一室を使用しています。

市の中心部にあり学校のすぐ隣にはさまざまな建物が立ち並んでいます。日本語教室が始まった直後、ショプロン市新聞社からの取材を受けました。そして、この取材の約10日後、「ショプロン市の新しい日本語教師」というタイトルの記事が4分の1ページほどの紙面で新聞に掲載されました。このこともあってか、その後も新たな方々から日本語教室への応募があり、今では合計85人の受講生がいます。



在日経験のある生徒と(左が栗原さん)

まだ始まったばかりで日本語教室のことだけで精一杯の毎日ですが、一人一人の受講生や一つ一つの授業を大切に、そして今後は文化体験・交流等もできるようにして、鹿角市の皆さまにお伝えしていければと思います。

ショプロン市新聞社インタビュー

Q: どのようなきっかけでショプロン市で日本語を教えようと思いましたか。

A: 日本で数カ国から来た外国人に日本語を教えたこと、日本語教育に関する専門知識もある程度学んできたことがきっかけです。



Q: 日本語教室への抱負を聞かせてください。

A: 今回80人近い多くの方々が応募して下さったことをうれしく思います。そして、申込時に記入してもらったアンケートから、皆さんが日本語を学ぶことに対して高い目標や意識をもっていることがうかがえました。受講生の期待に応えられるようしっかり日本語を教えたいと思います。